

## 【九州広域復興支援ファンド】 株式会社KabuK Styleに対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構が九州地方の地域金融機関等と共同で設立した「九州広域復興支援ファンド」(以下、「本ファンド」という。)は、株式会社KabuK Style(以下「KabuK Style」という。)に対し投資を実行しましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、本ファンドの第19号投資案件となります。

KabuK Styleは、『多様な価値観を多様なまま許容する社会のインフラを創る』ことをミッションに掲げるトラベルテックカンパニーです。旅をして異なる価値観の世界に触れることが、ミッションにある、“多様な価値観を多様なまま許容”することに繋がると考え、旅のサブスク「HafH(ハフ)」を運営しています。

「HafH(ハフ:Home away from Home)」とは、サービス内で獲得できる《HafH コイン》を使って宿泊する「旅のサブスク」サービスです。観光や出張目的だけでなく「住む」「働く」「日頃の気分転換」など新しい旅のスタイルを提供しており、2022年8月末現在、国内外で1,000以上の宿泊施設を定額で利用することができます。

2019年のサービス開始以降、3年間で会員数は3万5千人を突破、厳選したホテルや旅館の数は国内外で1,000拠点以上に増加しており、コロナ禍で苦境にたたさされている旅行・宿泊市場にあって成長を続けています。また、航空事業者や鉄道事業者と連携して交通サブスクを企画し、宿泊だけでなく旅行市場全体のサブスク化にもチャレンジしています。

さらには、韓国・台湾をはじめとした日本からの旅行者に人気がある拠点の拡大、既に海外旅行者の受入を再開したシンガポール・タイなどの東南アジア、そして中長期的には欧米各国に展開して、グローバルに旅のサブスク「HafH」が利用できる世界を作っていきます。加えて、今年度から宿泊施設のDX(デジタルトランスフォーメーション)のサポートも掲げており、本件により「HafH」の拡大だけでなく、宿泊施設向けシステムのさらなる開発もサポートしてまいります。

本ファンドでは、KabuK Styleの事業成長を加速するために必要な資金を支援することで、各地域の宿泊施設の活性化と、地域人口の増加、周辺地域における経済の活性化を促すことを期待するものです。

本ファンドは九州地域の活性化を通じて、当地の復興に貢献するため、今後も九州地域の事業者及び同地域の復興に資する事業者に対する投資を行ってまいります。

**【投資先の概要】**

企業名	株式会社 KabuK Style
本社所在地	長崎県長崎市
設立年月日	2018年2月
代表取締役	砂田 憲治
事業内容	旅のサブスク「HafH(ハフ)」の運営、宿泊及び賃貸運営業、旅行業
ホームページ	<a href="https://kabuk.com">https://kabuk.com</a>

**【九州広域復興支援ファンドの概要】**

機構ホームページをご参照ください。

<http://www.revic.co.jp/business/fund/06.html>

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590